



ここにちは
ジエーナスです

ちよつと
アツくなつてますが
これにはワケが
あります…



実を言うと
私は今
遭難してゐるんです

ええと…
そう

山にみんなと
レジャーに来ていて
一緒に
テント張って
ランチを…



汲みに
来たんだけど

ランチを作る
準備をしてて
ハンゴースイハン
に使う水を



あ...

ふああっ

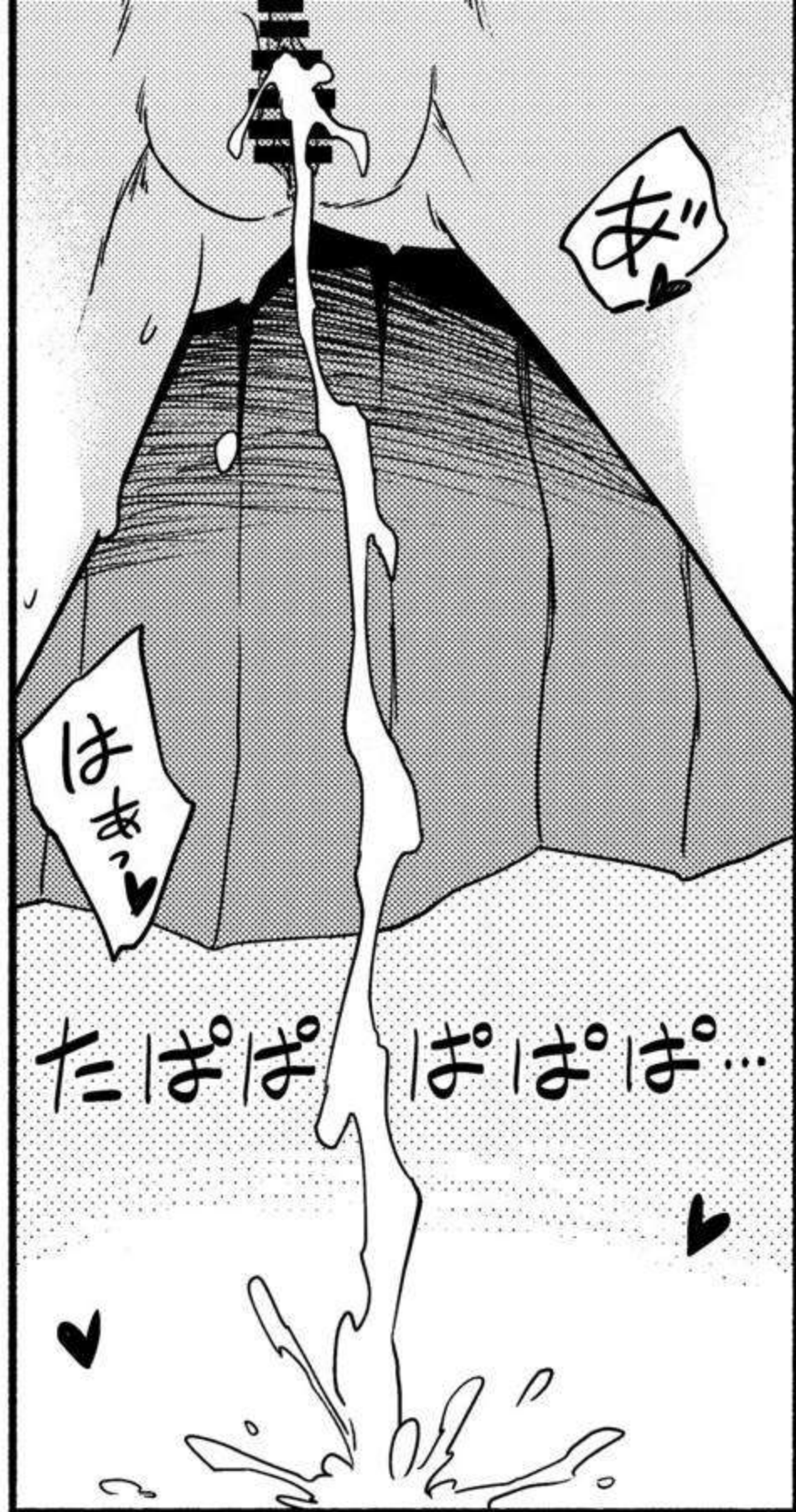
折角なら

近くに湧き水が
あると聞いたので

ふる

ふる

ふる



あ!!

はあ

たぽぽ ぽぽま...



はあ

装備には
ろ過浄水器もあるし

煮沸すれば
問題ないはずだから

はあ

はあ

はあ

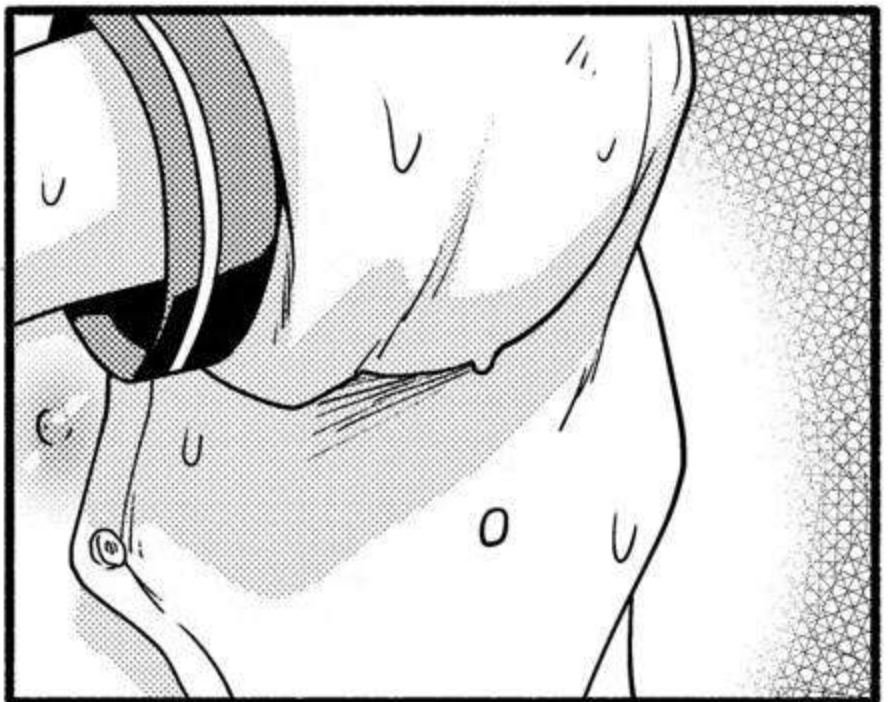
その水を
使えないかかって
思った...のです





思ったより濡れてるわね

じゅわじゅわ
まだ水がたれてくる...



ホタ...



生存のための...
暖を取る手段として
まあ...



ヒュウッ

ゾクッ



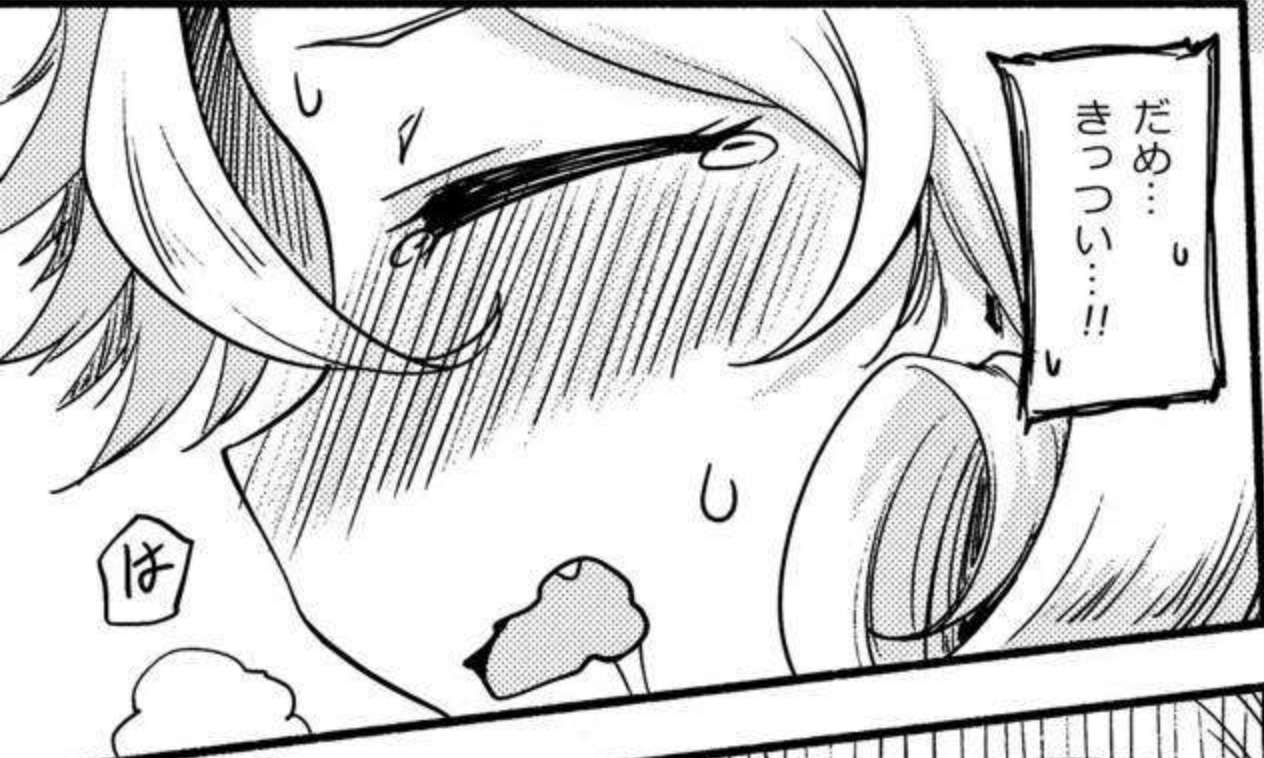
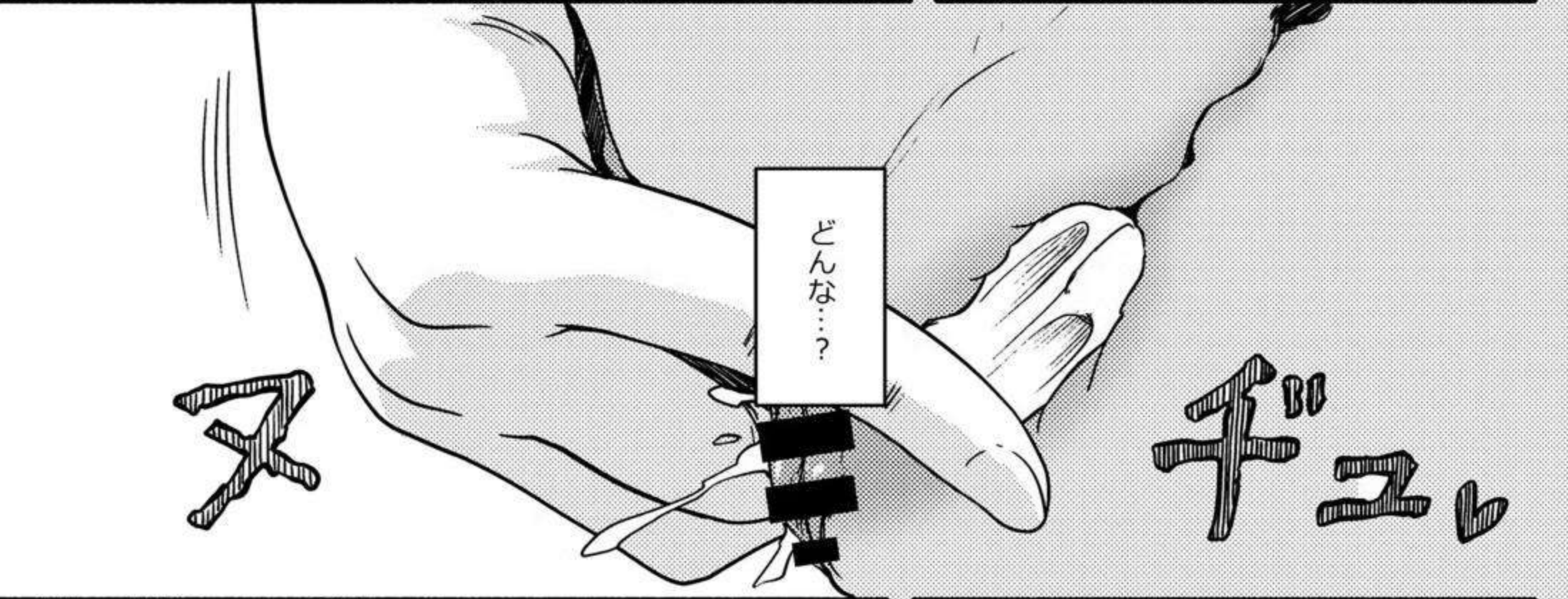
だから



...冷えるわ

気化熱と
雨の冷気...
標高も
あるのかしら

は...



ちよつとずつなら
耐えられる

そうよ
暖を取る為だから
ちよつとずつで
いいのよ



敏感な所を
触るだけでいい

それだけで
体はカッと
熱くなるし

合理的で
間違い無いわ

ず"ふ"

ず"ふ"

ず"ふ"



間違つて
なんか

ちゅほ

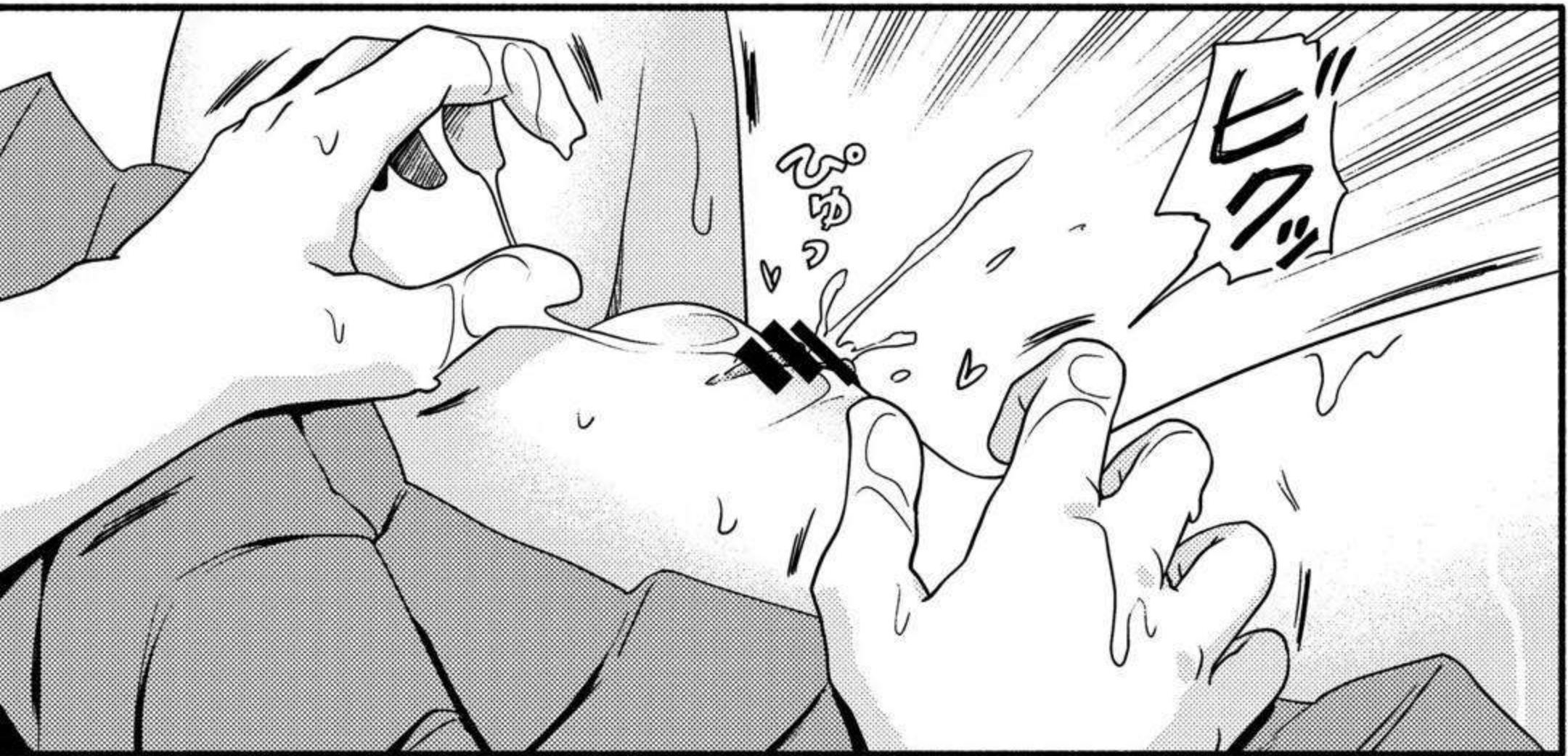
ちゅほ

あー

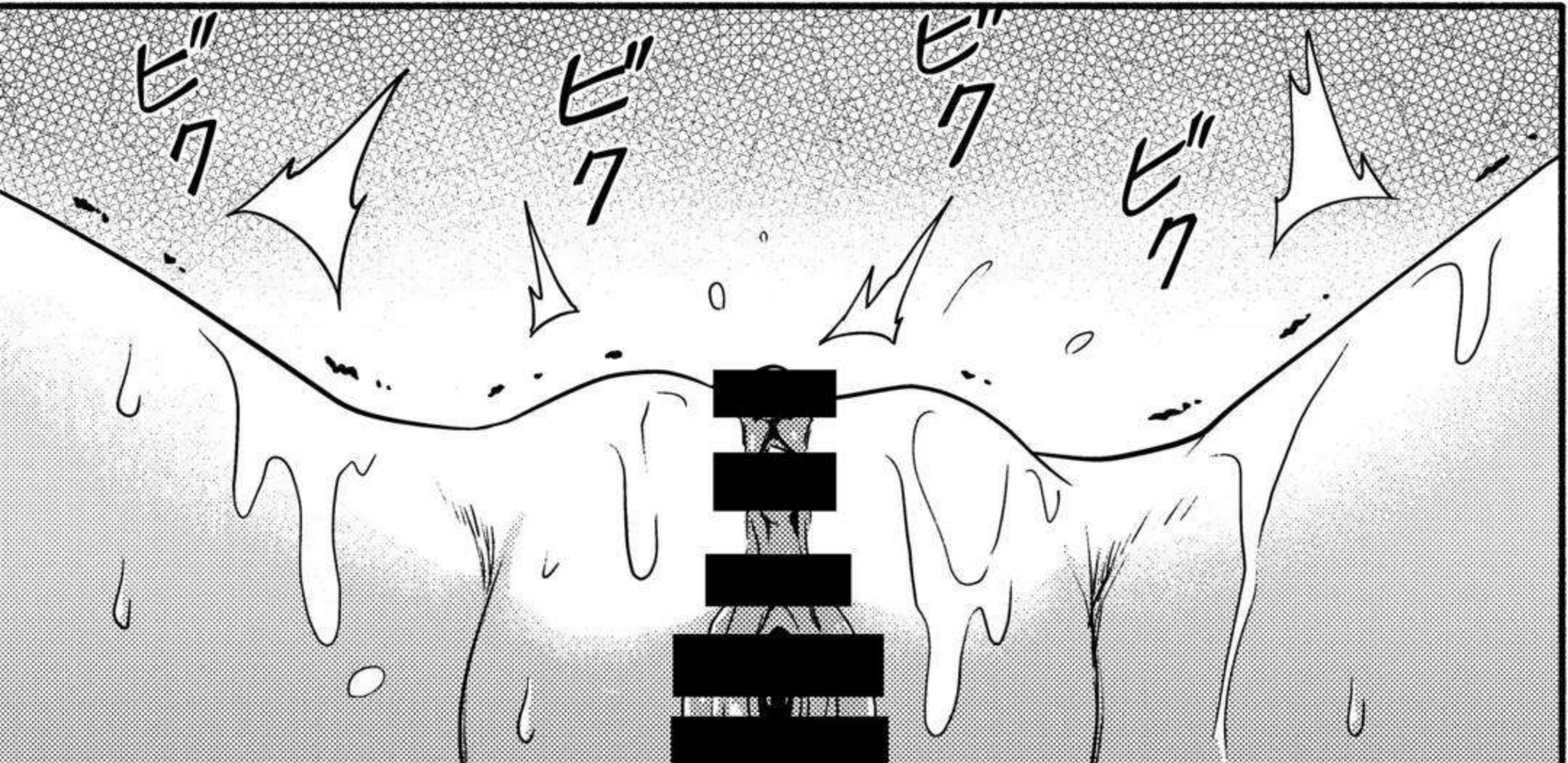
あー







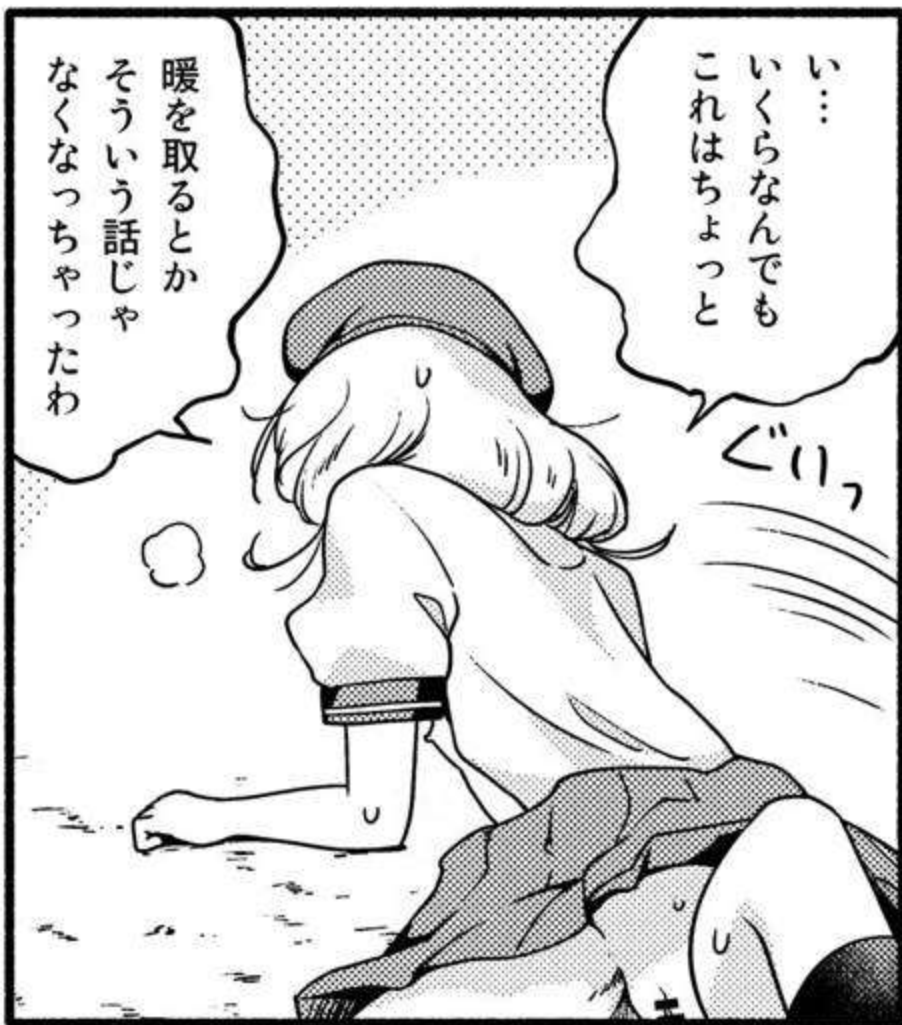
13





完全に
飛ばしすぎた

うん



うっ…

何かちょっと死にたい…

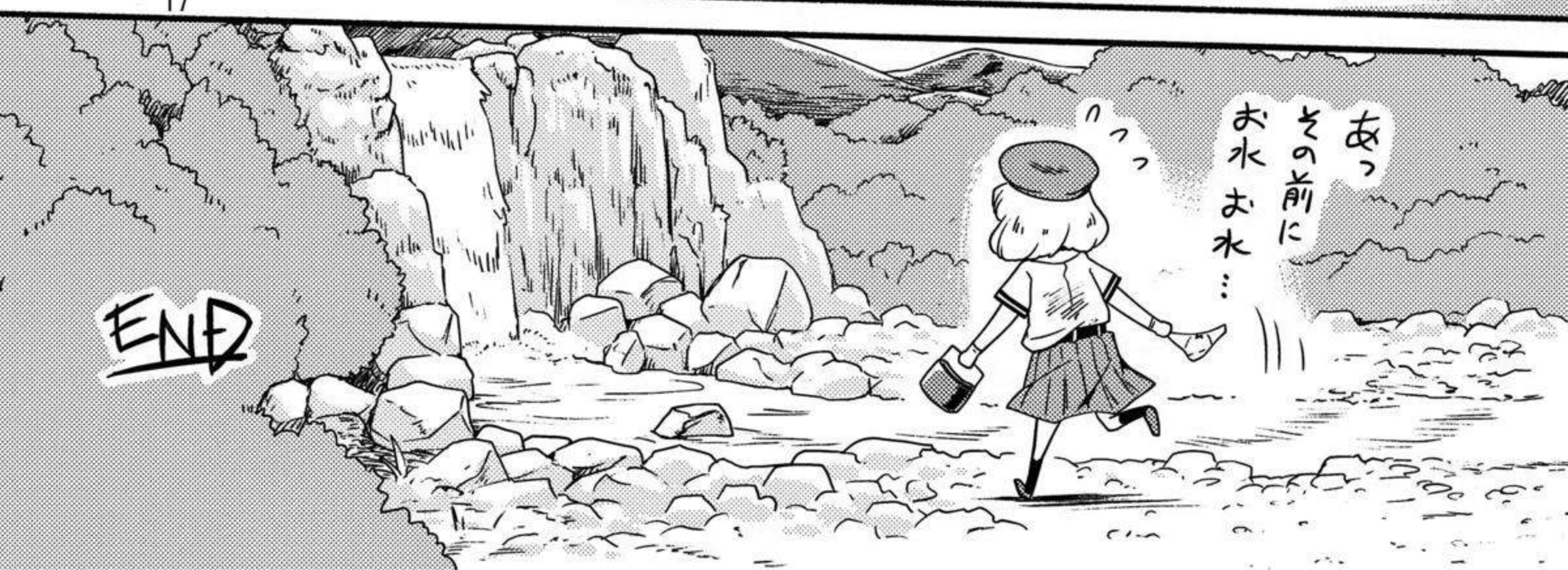
本気で遭難したい

森をさまようガチの遭難…
いや不謹慎ねそれは…





ぱんつ
乾かしながら
帰ろー♪



あっ
その前に
お水お水…

END

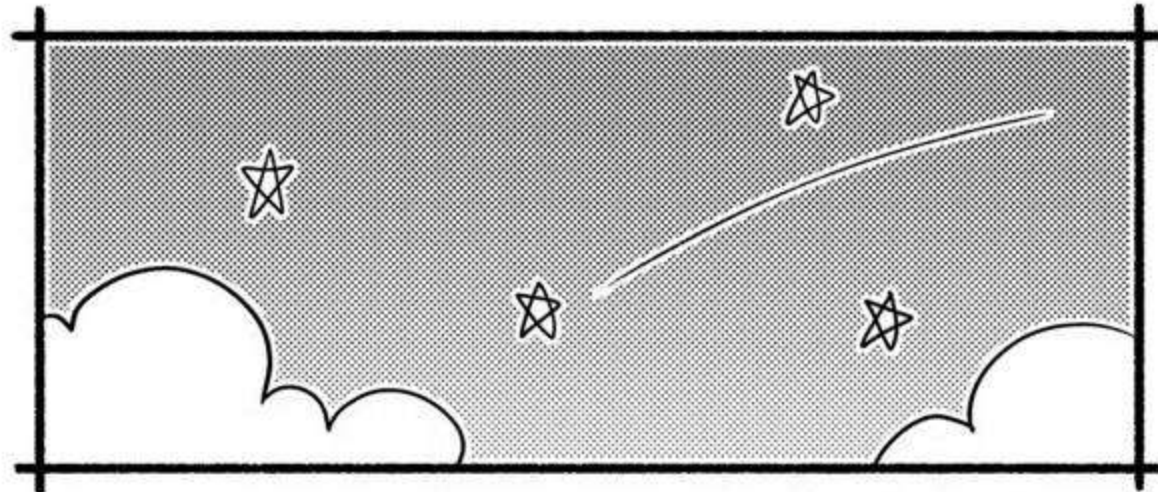
金髪碧眼美少女のどすけべブックは描きたいと思っていた。
何か本にするだけの熱量をぶつけたいなーと願っていた。

すると流れ星に乗って神が言った。
「金髪碧眼美少女のどすけべブックを描け」

神が言うのならしかたない。
私は描いた。
そして出来た。
出来てしまった。

ああ、なんて恐ろしい、私はこのために生まれてきたのか。
「そうだ」
神はそう答えると、満足げにスーっと雲の中に消えていった。

世界は平和になった。



同人ウスイブック伝記「天啓と才覚」より

誌名：野外炊飯オナニ一部

制作：ツキトコオリノ

著者：双月氷雨

印刷：有限会社ねこのしっぽ

発行：2022年12月30日

Pixiv：17131

Mail：rona_hf@hotmail.com

無断での複製や転載は禁止されています



ツキトコオリノ
双月氷雨